

3. 課題への取り組み（教育の質保証）

本人確認方法

- ・ 入学時：原則対面での本人確認
- ・ 受講時：携帯電話認証または顔認証
- ・ 試験時：スナップショット画像撮影で常時監視



質保証とより良い授業提供①

高度メディア授業の要件である双方向性を担保

VOD型教材

長いサンプリング周期の場合

- [サンプリング周期] > [信号周期] / 2

サンプリング周期 信号の周期

9

© Japan Cyber Educational Institute, Ltd. All Rights Reserved.

長いサンプリング周期の場合
10 サンプリング値の決定
11 アナログ信号の復元を試みる
12 共通な標本値でも異なる信号
13 最長サンプリング周期(1)
14 最長サンプリング周期(2)
15 第3章のまとめ

途中で練習問題を実施
直後に正誤と解説を確認
学生の能動的な学習を促進

小テスト内容理解度確認
ディベートでの相互ディスカッション
レポート添削指導

インターネット入門: 第2章 コンピュータウイルスと対策 - Google Chrome

>第2章 コンピュータウイルスと対策

コンピュータウイルスは様々な方法でPCに侵入してきます。その中でも、近年目に見えにくい形で悪意を持つものがコンピュータに侵入する手段として、ネットワークからの侵入があります。

前の章でも探りましたが、メールによるウイルス感染も広い意味ではネットワークからの感染になります。

しかし、メールによる侵入の場合、多くは添付ファイルからの侵入です。そのため、セキュリティ対策ソフトウェアで添付されたファイルを確認することによってウイルスを発見することができます。図11-2-1にイメージ図を示します。

(再生時間2:06)

ナビゲーション

メール

メールソフト

本文
添付ファイル

添付ファイル

ウイルスチェック

実行表示

WBT型教材

質保証とより良い授業提供②

Skypeによるビデオ電話式のマンツーマン指導
演習科目は授業評価アンケートの満足度高

授業内容

ゼミの課題

卒業論文指導



無料電話



対面コミュニケーションの機会

校舎やオフィス等で多彩なイベントを開催
教員と学生間の対面コミュニケーションを充実



学習継続支援

英語・数学等を復習するリメディアル科目を無償提供
「スタディスキル入門」でインターネットでの学習方法を修得
専任教員およびLAによる履修相談を実施



集合形式で頻繁に研修会を開催し、教職員の能力開発を促進



SD活動

TA/LA研修・定例会議
IDer・AIDer研修
事務職員向け研修会

FD活動

集合FD研修会、FDコンテンツ視聴
教員間の授業レビュー実施
IDerによる授業コンサルティング



4. 完全インターネット大学の使命と課題

① 社会のニーズに対する使命

大卒資格取得を目指す社会人の再教育

⇒ スクーリングを行わないことに対する一定のニーズあり

⇒ 時間的・地理的・経済的等の格差をなくして教育の機会均等を実現

② 教育質保証のための使命

インターネット教育のメリット

⇒ 体系的な学修により一定の評価水準を保証できる

⇒ 学習成果の記録・反復学習ではeラーニングが通学制よりも有利
課題への対応

⇒ 成績不良学生に対する個別指導（Skype等のビデオ電話で実施）

⇒ 厳格な本人確認の運用による不正の防止

③ 教育環境整備のためのコスト負担の使命

教職員人件費等のコスト負担

⇒ 教材作成および授業運営負荷が通学制よりも大きい

⇒ 授業コンテンツの著作権処理に時間とコストを要する

⇒ 学生や教員のPCトラブルに対する相談窓口の運用費負担が大きい

④ 法令上の課題

大学設置基準第36条第1項、大学通信教育設置基準第10条における校舎施設等の遵守

- ⇒ 法令に則して運用しているが、医務室等利用実績なし
- ⇒ 通学不要のニーズと相反するため最小限の機能で十分

大学通信教育設置基準第9条における専任教員数の定めへの遵守

- ⇒ 法令の定め通り、収容定員8,000人の場合に合わせた維持
- ⇒ ただし、高齢教員のICT活用能力に課題
- ⇒ 若くて教育熱心な人材を多数配置する方がメリットが多い